

Proposal for Generation Panel for Japanese Label Generation

Rules for the Root Zone (日本語)

1. General Information

[日本語のバックグラウンド]

現代の日本語を書き表すために主に使われている文字は漢字、平仮名、片仮名、英数字である。漢字は AD5 世紀ごろに中国から輸入した。平仮名や片仮名は AD10 世紀ごろに漢字を崩したり漢字の一部を使って日本で作られた音節文字である。アルファベットは AD16 世紀以降に西欧から入ってきたが、一般に使われるようになったのは AD19 世紀以降である。

平仮名や片仮名はそれらが作られた当初から漢字と入り混じって使われており、日本語の書記方法として長らく定着している。さらに、近代になってからは漢字・平仮名・片仮名に混じって英数字も使われるようになり、たとえば英数字と漢字が混ざった商号等、それら複数の用字の入り混じった書記方法が常態化、定着している。

1.1. Target Script for the Proposed Generation Panel

[ISO 15924 での Script コードの説明]

日本語の書記方法で使う Script は前述の通り漢字、平仮名、片仮名、英数字である。

ISO 15924 code: Jpan

ISO 15924 no.: 413

English name: Japanese (alias for Han + Hiragana + Katakana)

漢字の範囲

CJK Symbols and Punctuation: 3005, 3006

CJK Unified Ideographs: 4E00–9FCC

CJK Unified Ideographs Extension A: 3400–4DB5

CJK Unified Ideographs Extension B: 20000–2A6D6

CJK Unified Ideographs Extension C: 2A700–2B734

CJK Unified Ideographs Extension D: 2B740–2B81D

平仮名の範囲

Hiragana: 3041–3096, 309D–309E

Katakana: 30A1–30FA, 30FC–30FE

ISO 15924 code: Latn

ISO 15924 no.: 215

English name: Latin

英字の範囲

Basic Latin: 0061–007A

[英字を含めることができるかは IP に確認中]

1.2. Principal Languages using the Script

[日本語文字を使う言語の紹介]

[漢字を使う言語の紹介]

漢字は中国、台湾、香港、澳門、マレーシア、シンガポール、韓国等で使われてきた。日本語で使われる漢字は中国から輸入されたものだが、1000 年以上の歴史の中で日本固有の文字(国字)が追加されたり、日本固有の簡略化(新字体の作成)が行われたりしている。公的文書、新聞、一般書籍等で使われる漢字の集合として「常用漢字」が定義され、そこでは 2100 文字あまりが規定されている。また、常用漢字に含まれない人名用漢字が 860 文字あまり規定されている。日本国内で広く普及している文字の規格である JIS X 0208 では、これら常用漢字および人名用漢字を含み、さらに、地名や歴史的名称等を表すため、6300 文字あまりの漢字が規定されている。日本語における異体字としては主に簡略化前の旧字体と簡略化後の新字体の対応が存在しているが、人名や組織名等名前に対しては、旧字体と新字体は別の文字として認識されることが多い。

中国語で使われる漢字は簡体字(中国本土、シンガポール等で使用)と繁体字(台湾、香港、澳門等で使用)がある。簡体字は、繁体字の中でよく使われるものを書きやすくしたものとして捉えることができ、簡体字と繁体字は可換な異体字であると認識されている。なお、簡体字を使う国・地域で繁体字を使うこと、およびその逆はほぼない。また、簡体字と繁体字を混ぜて使うこともほぼない。

韓国で使われる漢字はほぼ繁体字であるが、現代韓国語の書記方法としてはハングルのみが用いられており、最近の公的文書、新聞、一般書籍等で漢字が使われることはほぼない。

[平仮名・片仮名を使う言語の紹介]

平仮名、片仮名は日本で発明された文字であり、日本でのみ使用されており、他の国や地域では使用されていない(脚注: パラオ共和国アンガウル州

<http://en.wikipedia.org/wiki/Angaur>)。平仮名、片仮名はともに音節文字であり、同じ発音に対してそれぞれ対応する文字があるが、それらは異体字とはみなされていない。平仮名は主に漢字の送り仮名や副詞、接続詞、難読漢字を平易に書き表す場合等に使われる。片仮名は主に外来語や擬声語で使われる。

[英字を使う言語の紹介]

英字はアラビア数字と同様に世界中の多数の国や地域で使われている。日本語における英字は主に外来語や略語を表すために使われる。会社名や商標名等で漢字・平仮名・片仮名と入り混じって使われることがある。

1.3. Countries with Significant User Communities for the Script

[以下は CGP の定義をそのままコピー]



Proposal for Japanese Generation Panel

	<i>Hans(Traditional Chinese script) used exclusively or almost exclusively (Taiwan, Macau and Hong</i>
	<i>Hans(Simplified Chinese script) used formally but Hant (traditional script) continue to be used widely</i>
	<i>Hans(Simplified Chinese script) used exclusively or almost exclusively (Mainland China)</i>
	<i>Hani(Chinese script) used in conjunction with other systems of writing in the same language, Hanja(Republic</i>

[以下で独自の白地図を作成可能]

<http://www.freemap.jp/item/asia/kouiki.html>

2. Proposed Initial Composition of the Panel

2.1. Panel Chair and Members (with Expertise)

候補者のリストと、候補者の専門性の背景

堀田博文(chair)

- Director, Corporate Planning, Japan Registry Services (JPRS)
- Council member of ICANN ccNSO
- Treasurer of APTLD
- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

前村昌紀(vice chair)

- General Manager, Internet Development Department, Japan Network Information Center (JPNIC)
- Chair of APNIC EC
- Former Member of NETmundial EMC
- Former board of Japan Network Information Center (JPNIC)
- Former member of JANOG committee

Proposal for Japanese Generation Panel

久保次三

- Professor, Senshu University Law School at Tokyo, Japan
- Panel of Experts appointed by WIPO in the WIPO Internet Domain Name Process 1999
- A member of the Advisory Committee of the Internet Association Japan (IAjapan)
- Former Chairman of the Trademark Committee of the Japan Intellectual Property Association (JIPA)
- Former Managing Director of the Japan Trademark Association (JTA)
- Former Member of the Advisory Council of the Japan Network Information Center (JPNIC)
- Former Chair of the JPNIC Domain Name Working Group (DOM-WG)
- Former Chairman of the JPNIC Domain Name Dispute Resolution Policy Taskforce (DRP-TF)
- Former DRP Panelist of the Prefecture Type JP Domain Name Sunrise of Japan Registry Services Co., Ltd. (JPRS)

後藤滋樹

- Professor at Department of Computer Science and Engineering, Waseda University, Japan
- President of Japan Network Information Center (JPNIC)
- Advisor to Asia-Pacific Advanced Network (APAN)
- Chair of JP Domain Name Advisory Committee
- Former member of Telecommunications Council, Japanese Government
- Former vice chair of Japan Internet Domain Name Council
- Former chair of Japanese Domain Names Association (JDNA)
- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

小西和憲

- NOC Director of Asia-Pacific Advanced Network (APAN)
- Former professor of Cyber University
- Former board of Japan Network Information Center (JPNIC)
- Former board of Japanese Domain Names Association (JDNA)
- Founder of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)
- Co-author of JET Guideline (RFC 3743)

田代秀一

- General Manager, Open Standards Promotion Center Technology Headquarters, Information-technology Promotion Agency, Japan
- Member of ISO/IEC JTC1/SC2/WG2/IRG
- Secretary of IPA Character Information Infrastructure
- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former member of JPNIC Domain WG (DOM-WG)
- Former member of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)

米谷嘉朗

- Senior Researcher, Research and Development Department, Japan Registry Services (JPRS)
- Co-chair of IETF precis WG
- Board of DNS operator group Japan (DNSOPS.JP)
- Former member of ICANN IDN VIP Chinese Case Study Team
- Former secretary general of Japanese Domain Names Association (JDNA)
- Former member of CJK Joint Engineering Team (JET)
- Former chair of JPNIC IDN Taskforce (IDN-TF)
- Co-author of downgrading mechanism for EAI (RFC 5504)

2.2. Panel Diversity

日本語生成パネルのメンバーはさまざまな背景を持つ専門家が集まっている。いずれのメンバーも IDN の規格策定や JET における CJK での議論、日本国内における日本語ドメイン名ルールの制定、ICANN におけるマルチステークホルダモデルでのポリシー作成の経験を持っている。

日本語生成パネルの初期メンバーはいずれも日本人であるが、インターネット国際化(多言語化)を世界的な範囲で実施していた経験者が多く、インターネットの国際化における日本語や他の言語(特にアジア系言語)に造詣が深い。

2.3. Relationship with Past Work or Working Groups

JP ドメイン名においては、2001 年 2 月より、IDN の登録サービスを開始した。それは、汎用 JP ドメイン名と呼ばれる第 2 レベルへの ACII ラベルおよび IDN ラベルの登録サービスである。また、2012 年 11 月からは、都道府県型と呼ばれる第 2 レベル

に都道府県名を持つ第3レベルへのACIIラベルおよびIDNラベルの登録サービスを開始した。

汎用JPドメイン名においては、2014年11月1日現在、全93.9万ドメイン名登録のうち約13%がIDNであり、また、都道府県型JPドメイン名においては、全1.2万ドメイン名登録のうち約25%がIDNである。

また、それらIDNのうち、約4%は、英数字交じりのIDNである。

このJPにおける日本語ドメイン名のルールはIANAレポジトリにja-JPとして登録されており、それは、ASIAでも使われている。

この日本語ドメイン名のルールは、2000年9月よりJPNICが中心となり、ドメイン名の専門家だけでなく商標専門家や文字の専門家等、多様な専門家を集めて議論し、作ったものである。その過程において、コミュニティに仕様を公開し、コメントも受け付けた。主だった特徴は、次のものである。

- 漢字、ひらがな、カタカナが少なくとも1文字入った、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字の列
- 漢字は、JIS第1水準と第2水準からなる6355個の範囲。平仮名は85字、片仮名は89字、漢字に準ずる文字は5字。
- 異体字は存在しない

その約14年間に及ぶサービス提供経験において、この日本語ドメイン名のルールに対する苦情や反対意見は受けていない。

[JETとの関係]

CJKは、同じ漢字を共通に使う可能性がある。しかし、漢字の範囲や異体字の定義は、CJKそれぞれで異なる。

IETFでのIDNAの検討を通して、この異体字をどのパートで処理すべきかという議論があった。この中で、プロトコルのレベルで異体字を処理すべきという意見があったが、プロトコルのレベルでは言語毎に異なる扱いを要求する異体字を処理できないという問題がある。

このため、CJKを使う国や地域がJET(Joint Engineering Team)と呼ぶチームを作り、異体字の扱い方を協力して検討し、ドメイン名登録や利用のレベルで処理すべきということを合意し、RFC3743を作り出した。

3. Work Plan

3.1. Suggested Timeline with Significant Milestones

2014 年

- 8-11 月 JGP 設立準備
JGP 準備会合[JGP 体制/スケジュール/方針の共有・合意]
- 12 月 JGP 設立申請[対 ICANN]
JGP 設立申請したことを発表[対国内一般]
日本語ルール方針案・CJK 対応方針作成、パブコメ募集準備

2015 年

- 1 月 JGP 会合(日本語ルール方針案・CJK 対応合意/パブコメ内容確認)
CJK 調整委員会(?)
日本語ルール方針案パブコメ募集
- 2 月 パブコメ回答案・日本語ルール案作成
JGP 会合(パブコメ回答確認/日本語ルール案合意)
日本語ルール修正案作成、パブコメ募集準備
CJK 調整委員会
JGP 会合(日本語ルール修正案合意/パブコメ内容確認)
日本語ルール修正案作成
CJK 調整委員会
- 3 月 JGP 会合(パブコメ回答確認/日本語ルール修正案合意)
日本語ルール案提出[対 ICANN]
ICANN(統合パネル)との最終調整

※ 本活動予定は最速のケースを想定したものであり、検討項目の増減、
CJK 間調整等の状況により適宜予定を修正する

3.2. Proposed Schedule of Meeting and Teleconferences

毎月 1～2 回の会合を予定

3.3. Sources of Funding for Travel and Logistics

事務局である JPRS もしくは JPNIC が会議場所および必要に応じリモート参加環境を提供。また、会議場への交通費やリモート参加に要する機材等は、メンバー各位が負担する。

3.4. Need for ICANN Provided Advisors

パネル創設当時は、特に想定していない。ただし、検討の進展中において、必要に応じアドバイスを依頼することはある。

References

このドキュメント中の外部参照リスト